

Q. 今回決定された株式交換比率には、当社の現在の配当額は織り込んでいるのか。

A. 株式交換比率は、様々な条件を総合的に勘案して決定しております。

パナソニックグループの業績に貢献できるよう当社が事業に取り組むことにより、間接的にはありますが、パナソニックの株主還元にもつながるものと考えています。

Q. 当期ベースでパナソニックと当社の配当金を比較すると、本株式交換比率では、配当額が減少するのではないか。

A. 当期ベースに基づく単純比較によって将来の配当を予想することは困難です。

当社もパナソニックも、当期の配当金が永続的に続くということではございません。今後、パナソニックの配当政策が変化する可能性はございますが、同社の配当の将来予測については、当社が申し上げる立場にはございませんのでご了承承願いたします。

Q. 一般市場における今後の事業展開をどう考えているのか。

A. パナソニックとのコラボレーション等を深め、さらに伸ばしてまいります。

今まで当社が独自に展開してきた一般市場向けビジネスの方針は基本的には変わりません。むしろ、パナソニックとのコラボレーションなどにより、さらに伸ばしていくことをめざします。これまで株主の皆さまにご支援いただきながら伸ばしてきた当社の強みを、パナソニックグループが取り組む IT を使ったビジネスに活かしてまいります。

Q. 今後の利益計画、配当等もしっかりとしてほしい。

A. 貴重なご意見として承ります。

Q. 株式交換比率の交渉、決定はどのようになされたのか

A. 株式交換比率は、第三者算定機関の算定結果、今後の成長性、当時の株価等を総合的に勘案したうえで交渉を重ねて決定いたしました。当社としては、妥当な比率であると考えております。

以 上